

令和3年度

研 究 紀 要

第53号

徳 島 県 高 等 学 校 教 育 研 究 会

音 楽 部 会

目次

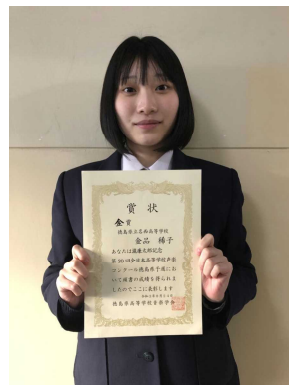
I	第30回全日本高等学校声楽コンクール徳島県予選	2
	1 徳島県予選結果・講評	
	2 全国大会参加寄稿	
II	令和3年度 徳島県学校音楽祭（器楽合奏の部）	4
	徳島県合奏コンクール	
	講評	
III	令和3年度 徳島県音楽祭（合唱の部）	8
	第88回NHK全国学校音楽コンクール徳島県大会	
IV	令和3年度 人権に関する児童生徒の作品	12
V	実践報告	16
	1 フレッシュ研修Ⅰを終えて	
	2 ジャンプアップ研修を終えて	
VI	会員寄稿	41
	「おかげさまで37年 ～徒然と教員生活を振り返って～」	
	「定年のご挨拶 ～夢を追い求めて～」	
VII	令和3年度 徳島県高等学校教育研究会 音楽学会会員名簿	47

I 第30回全日本高等学校声楽コンクール徳島県予選

1 徳島県予選結果・講評

日 時 令和3年8月24日（火）
 会 場 石井町中央公民館 藤ホール
 徳島県代表 金品 稀子
 （徳島県立名西高等学校3年）

出 場 者(申込順)



氏名（学校・学年）	課題曲	自由曲	ピアノ伴奏
上田 萌七笑（名西高等学校1年）	秋の月	Caro laccio （Gasparini 作曲）	石川 宏美
橋本 千桜姫（名西高等学校2年）	荒城の月 1・2番	Le violette （Scarlati 作曲）	上原 慎太郎
樋口 莉奈（名西高等学校2年）	荒城の月 1・3番	Intorno all' idol mio （Cesti 作曲）	上原 慎太郎
金品 稀子（名西高等学校3年）	納涼	Io son quel gelsomino （Vivaldi 作曲）	上原 慎太郎
八木 結菜（名西高等学校3年）	荒城の月 1・4番	Voi che sapete （Mozart 作曲）	石川 宏美
樋口 慶一郎（城北高等学校3年）	荒城の月 1・3番	Vaga luna, che inargenti （Bellini 作曲）	松丸 麻祐子
阿望 紗苗（城北高等学校3年）	荒城の月 1・3番	O del mio amato ben （Donaudy 作曲）	佐藤 由美子
ライス アビー （徳島市立高等学校3年）	荒城の月 1・3番	Caro mio ben （Giordani 作曲）	梅本 敏行
鎌田 智江（富岡西高等学校1年）	荒城の月 1・3番	Caro laccio （Gasparini 作曲）	湯浅 彩



講 評

徳島県立富岡西高等学校 教諭 常陸 貴生

まず、丁寧な発音とフレーズの入りを意識している人が多かったです。特に曲の最初は緊張をしてブレやすいのですが、そのような事を殆ど感じさせない歌唱ができていました。次に息の取り方、流し方ですが、これは人それぞれです。曲の最初から落ち着いた息の流れで表情豊かな表現に持ち込んでいく事もあれば、少し浅くなってしまったせいで、フレーズの途中でパワーダウンしてしまう事もありました。これは同時に音程のブレにも繋がっていきます。また、言葉の発音と息の流れが連動しておらず響きの浅い表現になってしまいます。とても難しい事ですが、音の強弱、高低差などのフレーズの動きに左右され過ぎず、落ち着いて狙いを定めた息の流れを意識してください。基本的な事項ですがとても大切な事だと思いますので、今後の参考にして頂ければと思います。

2 全国大会参加寄稿

「第75回 瀧廉太郎記念全国高校生声楽コンクール」に参加して

徳島県立名西高等学校 3年 金品 稀子



私は、10月16・17日に大分県竹田市で開催された第75回瀧廉太郎記念全国高校生声楽コンクールに出場しました。昨年は大会開催中止となり、3年生で初めて全国の舞台を経験することになりました。響きの良い美しいホールで歌うことができ、高校時代の記念になりました。

前日に竹田市に入り、会場で出演順のくじを引きました。大会前夜は、コンディションを整えるためにマスクをして、十分に睡眠を取るよう心掛けました。

当日、出場者を三つのブロックに分けて演奏しましたが、私は最後のブロックだったので、ほとんどの他府県の代表生徒の演奏を聴くことができました。ひとりひとり個性が光っていて、レベルの高い演奏だったので、とても刺激を受けました。いつの間にか気合が入って頑張れたので、緊張もしましたが、自分の中では一番よい演奏ができたと思います。残念ながら上位10人の本選には残れませんでした。この経験を糧に、更に技術を磨きレベルアップしていきたいと思いました。ご指導いただいた先生方ありがとうございました。

Ⅱ 令和3年度 徳島県学校音楽祭(器楽合奏の部)

徳島県学校合奏コンクール

1 日 時	令和3年8月5日(木), 6日(金)	
2 会 場	あわぎんホール(5日), 阿南夢ホール(6日)	
3 審 査 員	四国大学非常勤講師	石 川 透
	徳島県立総合教育センター 指導主事	上 原 祥 子
	フルート奏者	川 人 伸 二
	鳴門教育大学准教授	鉄 口 真 理 子
	邦楽指導者	三 木 千 佳 子 (五十音順)



4 プログラム

【 あわぎんホール(5日) 】

学校	指揮者	演奏形態	曲 名	作曲者(編曲者)
板野高等学校	山本 裕子	金管バンド ・吹奏楽	鬼娘 ～ある美しき幻影～	田村 修平
県立川島中学校 ・高等学校	岸 直美	金管バンド ・吹奏楽	ディズニーランド セレブレーション	(M.ブラウン)
富岡東中学校 ・高等学校	梅本 香織	金管バンド ・吹奏楽	沢地萃	.天野 正道
城東高等学校	井上 郁代	器楽合奏 大編成	歌劇『サムソンとデリラ』 より『バックナール』	C.サン＝サーンス

【 阿南夢ホール(6日) 】

学校	指揮者	演奏形態	曲 名	作曲者(編曲者)
城ノ内高等学校		器楽合奏 小編成	弦楽四重奏曲第5番 へ長調 KV.158 第1楽章, 第3楽章	W.A.モーツァルト
徳島文理高等学校		器楽合奏 小編成	英國戀物語エマ第1幕より シルエット オブ ア プリーズ, メヌエット	梁 邦彦 (金子 健治)
城西高等学校	松丸 麻祐子	金管バンド ・吹奏楽	バレエ組曲 『青銅の騎士』より	R.グリエール (高橋 宏樹)
阿波高等学校	橋本 二千翔	器楽合奏 小編成	カプリオール組曲より 1, 5, 6	P.ウォーロック
名西高等学校	山根 幹	器楽合奏 小編成	ディヴェルティメント ニ長調 KV.136	W.A.モーツァルト

講 評

フルート奏者 川 人 伸 ニ

このコンクールは「日本学校合奏コンクール委員会」が主催する、楽器編成などの出場制限を設けない自由な楽器と、自由な編成での参加が可能なコンクールです。主催者のポリシーが浸透しているためか、創設来半世紀を越えても一貫してコンクール独特の「ギラギラ感」や「悲壮感」がなく、不思議に思ってきました。

現代はデジタル化の時代です。教育の世界もデジタル化が進んでいます。学校でも生徒の学習の成果はすべて数値で示されるようになり、「数値」による成果を追い求める場となっています。音楽においても例外ではありません。音楽において数値化出来る手っ取り早いものが「コンクール」です。今や日本中がコンクールで勝つために競い、成果を出すことにしか興味がなくなっているように見えます。

コンクールが大盛況となり、それに参加する人数も半端ない筈なのに、コンクール以外の場所で音楽を生活の中で楽しんでいる人たちをほとんど見掛けないのは何故でしょうか？

逆に、コンクールに関わることなく自分たちだけで自由にバンドを続けてきた人たちは、生涯バンド活動をしているのが不思議です。徳島の「ライブハウス」も例外ではなく、今、音楽愛好家の熱気で溢れています。

日本中が競争の渦に巻き込まれるなか、徳島の「学校合奏コンクール」の在り様は特筆すべき存在だと思います。コンクールに固執していないということに加え、それぞれが個性的な活動を大切にしているという点です。それぞれの学校が「独自の活動」と「伝統」を大切にしようという気概に溢れていました。

中学校では、箏曲合奏(高浦, 新野, 阿南, 石井, 鳴門, 八万), マンドリンオーケストラ(半田, 羽ノ浦), ジャズオーケストラ(日和佐, 貞光, 阿南第二), パーカッションアンサンブル(上勝), 吹奏楽(阿波, 鴨島東, 阿南第一, 小松島), 弦楽合奏(市場), 管弦楽(徳島)と、多様で個性的な合奏団が、それぞれの伝統を脈々と築き上げています。

高等学校では、吹奏楽(板野, 県立川島中高, 富岡東中高, 城西), リコーダー合奏(文理), 管弦楽(城東), 弦楽合奏(城ノ内, 阿波, 名西)が出場しました。

高等学校は数も少なく、未だ歴史が若い高校が多く伝統が確立しているとは言えませんが、現在の貴重な活動を粘り強く継承し、伝統の樹立と歴史を積み上げて下さることを願っています。そしてこのコンクールに出場した生徒の皆さんが、さらに独自に仲間とアンサンブルを楽しまれている光景が数多見掛けられることを切に希望しています。

【1日目】

13 板野高校 田村修平 鬼姫-ある美しき幻影-

一人一人の力を丁寧に発揮させるような練習が積まれ、人数以上の効果を生んでいました。

14 川島中高校 ディズニーセレブレーション (編曲マイケル・ブラウン)

吹奏楽の基本的な技術を身に付けるに適したシンプルで明快な曲です。

冷静にハーモニーやバランスを積み上げようとする方向性は良いと思います。

15 富岡東中高校 天野正道 沢地萃(たくちすい)

標題音楽でも描写音楽でもない作品ということで、逆に音の扱いのみに集中出来たのではないのでしょうか。コツコツと一音一音積み上げていけば、それ程難解な曲でも無かった筈です。

16 城東高校 サムソンとデリラ「バックナール」

美弱音からスタートし、ティンパニーとホルンによって盛り上げられる美爆音に至る音量変化を見事に演じ上げました。確固とした伝統を築き上げている学校です。

【2日目】

10 城ノ内中高等学校 モーツァルト 弦楽四重奏第5番 1・3楽章

弦楽器の経験は浅いと想像しますが、ヴィブラートを抑えて和音を美しく響かせるなどアンサンブルの作り方がとても要領を得ていると感心しました。

- 11 文理高等学校 梁 邦彦 英国恋物語エマ第1集より シルエット ブリーズ メヌエット
各パート二人というのは音を合わせる上で案外難しいのですが、美しい響きと調和を生み出していました。リコーダーアンサンブルが文理の伝統として定着してきました。
- 12 城西高等学校 グリエール 青銅の騎士
最少人数ながら低音部から高音部まで良いバランスの編成を考え、一人一人の音を埋もれさせずよくブレンドさせ、美しい響きを作っていると感心させられました。
- 13 阿波高校 ウォーロック カプリオール組曲 1.5.6
この曲はピアノ連弾のために書かれたものですが、色々に編曲されているのはそれ程に魅力があるからでしょう。各曲の特性を生かしまとめていると思いました。強弱は、Subito(急激な変化)を心掛けるとよいと思います。
- 14 名西高校 モーツァルト ディヴェルティメント kv136
良いテンポで歯切れよくモーツァルトを聞かせてくれました。まさしくコンクール向きの曲とは思えないのですが、ここにコンクールで入賞することよりも「音楽をする」ということに重きを置いているという意気を感じさせられました。

2021年8月8日



Ⅲ 令和３年度 徳島県学校音楽祭(合唱の部)

第８８回NHK全国学校音楽コンクール徳島県大会

- 1 日 時 令和３年８月１８日（水）
- 2 会 場 徳島県教育会館・大ホール
- 3 課 題 曲 「彼方のノック」
作詞：辻 村 深 月 作曲：土 田 豊 貴
- 4 審 査 員
- | | |
|-------------------|---------------|
| 四国大学 名誉教授 | 石 川 透 |
| 徳島県立総合教育センター 指導主事 | 上 原 祥 子 |
| 四国大学 非常勤講師 | 大 井 美 弥 子 |
| 徳島文理大学 教授 | 河 口 雅 子 |
| 徳島文理大学 教授 | 松 岡 貴 史（五十音順） |
| NHK 徳島放送局 放送部長 | 加 藤 篤 |



5 プログラム（自由曲）

校 名	自由曲 作詞・作曲	指揮者	伴奏者
名西高等学校 （女声三部合唱）	女声合唱とピアノのための組曲「空をかついで」から 空をかついで 作詞 石垣 りん 作曲 三宅 悠太	新居 誠司	上原 慎太郎
徳島市立高等学校 （女声三部合唱）	欽 —女声合唱とピアノのための— 作詞 三角 みづ紀 作曲 名田 綾子	梅本 敏行	美馬 かおり
徳島北高等学校 （混声四部合唱）	帰 郷 —混声合唱とピアノのための— 作詞 谷川 俊太郎 作曲 三宅 悠太	榎 一二三	角 多恵子
城北高等学校 （女声三部合唱）	うたを うたう とき 作詞 まど みちお 作曲 信長 貴富		三村 加奈 ----- 無伴奏
城東高等学校 （女声三部合唱）	Missa Brevis for Three Voices 作詞 不明 作曲 Stephanie Martin	井上 郁代	岡久 凜花 ----- 無伴奏

昨年、N コン 2020 はコロナ禍で開催されませんでした。1 年置いて、今年は諸々の感染対策を講じた上で、無観客ながら何とか念願の開催となりました。そんな中で、合唱のみなさんにとっては練習するのも大変なご苦勞だったと思います。この苦難を乗り越えて参加された出場校のみなさんに、まずは敬意を表したいと思います。みなさんの輝く歌声は、優しさと力強さに満ち、聴く者を魅了し、勇気づけます。

N コン 2021 課題曲のテーマは「とびら」。「とびらの先に、どんな世界が広がっているのか？ 好奇心と勇気を持って、前へ」というメッセージが込められています。その中で高等学校課題曲は「彼方のノック」でした。作詞者は、「歌うことで曲中の『私』と『あなた』の物語を描き出し、彼らの声を聞き、二人のドラマを完成してほしい。」とコメントしています。

曲の構成は、練習番号 **A**（長い長い～）から **C**（何度も何度も～）までが扉の先を目指して駆け、もがく「私」。この間、ピアノパートを見ればわかるように、La-So-La-So-La の音の往復が、光の射さない窓、なかなか先に進めない道のりを感じさせます。「わたしを傷つけたすべての人」でこれまでのクライマックスへ。**D**（ドアの前～）から **E**（あっちからも～）までが、あっちからもドアを開けたくて泣いている「あなた」。ここは *sentimentale*。ピアノパートは 16 分音符の 6 連符。譜面ヅラがちよっと安定した壮大さに見えてしまいましたが、不安定で感傷的、訴えかけるように歌いたいものです。**F**（あなたはまるで～）では、「あなた」に共感？ ピアノの La-So-La-So-La が再び。**G**（星の光が～）は、手が届かない遠くにある光。長三和音が多い、憧れに満ちて。**H**（置き去りに～）は、怯える「私」と「あなた」。ピアノは再び 16 分音符の 6 連符。**I**（ああ私のためだけに～）からは世界が変わり始めます。ポジティブな気持ちへの大きな動き、うねりが欲しいところ。それでも「あなたの涙を止めても構わないと思った途端、あっけなく開いていく。絶望～」。この辺りのちよっと屈折した？ 表現は、よく読まない和理解が難しいのでは？ 85 小節目は、「たくさんの扉を」からセンテンスが新しくなるので、前の流れを断ち切り、2 拍目からは *con moto* 気味にぐいぐい引っ張っていったクライマックス「光」へ。**J**（わたしに似た～）は、「あなた」と「私」の共感。ピアノは、回想するようにまた La-So-La-So-La。そして曲頭や 50 小節目にもあった、「光への希求」のような Do-Fa-So-La-Si-Fa の上昇モチーフで余韻の中へ。

この詩と曲では、扉（傷、痛み）→ノック（共感、理解）→光がキーワードのように思えます。ところが楽譜を見るかぎり、歌の各パートには、はっきりとしたテーマや繰り返し使われるメロディー、モチーフがなかなか見当たらず、音楽の方向性や構成感を、まさに詩の内容からしっかり作り上げなければ、という難しさがあります。

各校それぞれに工夫された表現には聴き応えがあり、それはとても素晴らしかったと思います。と同時に上記のように、**E** や、特に曲の後半、クライマックスに至る **I**～**K** で、声やハーモニーの魅力を聴かせるものの、リズムや動きを停滞させないで意味合いや方向性を明瞭に出すのは大変だったんだなと思いました。

出場校数は一昨年同様でした。各審査員の感想もお聞きし、それぞれの出場校への講評をまとめてみました。

【名西高等学校】

繊細かつダイナミックで完成度の高い合唱。安定感のある美しい響き、声の魅力。そして休符のところにも絶えず音楽の流れが。

（課題曲）フレーズの中に、言葉、心が感じられ、冒頭の「ながい～」から惹きつけられます。ソプラノがよく鳴り、外声間の音程も安定し、響きもととても充実していました。曲を細かなところまでよく分析され、表現に生かされていたと思います。G ～ K の（三連符を含む部分の）内容やフレーズ感には工夫が欲しいところです。また、マスク着用ではありましたが、場面によっては音色の変化がもっとあるとストーリー性が発揮できると思われます。

（空をかついで）曲のユニークな書法からくる表現の広がりをよく実現しています。フレーズ感良く、細部までよく構成されていて、スケールの大きな演奏でした。各パートが充実し、すばらしいハーモニーを創り出していました。大切なことばは意識して浮き出させ、また細かい音符でも息の流れをもっとスムーズに。

【徳島市立高等学校】

音楽の方向性が明確で、みずみずしい響きのあるすばらしい演奏でした。ソプラノはもとより、アルトやメゾの響き、音色、歌いっぷりに魅了されました。2曲ともフレーズの性格づけがきちんとなされており、曲のストーリーがよく描かれていました。

（課題曲）とてもいいねいで、優しさ、壮大さがあり、ファンタジーあふれる演奏。心に響きます。前半とくに、細かい部分までよく分析され、歌詞のイメージが大切に表現されています。フレーズ感が感じられ、ことばのもつ思いが十分に伝わってきました。G ～ K の（三連符を含む部分の）内容やフレーズ感には工夫が欲しいところです。大切なことばのはじまりを際立たせ、音程の微妙なところの調整を。

（鉄）声量も表現力もあり、流れ、フレーズ、抑揚も十分で、曲の魅力がよく発揮されていました。自在さのある流れを、エッセンス込めて作り、それでいて全体をしっかり構成しています。一方、「いつか気づくだろうか」「変化したりしなかったりする」など、曲の持つ意味や想いを歌詞から読み取り、曲想に結びつける工夫がもっと欲しいところもありました。

【徳島北高等学校】

少人数を忘れさせる、エネルギッシュで完成度の高い演奏。一人一人の技量が高く、響きも豊かでバランス良く、知的で、表現意図が歌声に忠実に表れる感動的なステージでした。また日本語の発音、表現が秀逸。語るように歌われていて、曲の世界にどんどん引き込まれました。息がよく流れ、細かなリズムでもそれが失われないのがすばらしいですが、気持ちが先行するあまり縦の線や音程が乱れるところも。

（課題曲）少人数にもかかわらず、豊かな声量と響きで細部まで本当にいいねいに表現されています。ことばをフレーズ感でメッセージに結びつけ、情景をよく表していました。p部分、特に良かったです。「ノック」のkなど、子音を鮮明に。後半の構成をもっとドラマチックに。

（帰郷）心のエネルギーが感じられます。ことばがていねいに歌われているためフレーズ感が良く、詩の内容の深さが伝わります。自在さを持ちながら、よく構成された演奏です。

【城北高等学校】

大人数で歌うのも大変な曲を、ピアノと一体になって豊かに表現してくれました。一人一人がとても魅力的な声を持ち、音程が不安定になる箇所や音域的に少し難しい部分もありましたが、全体としてとてもいい音楽作りになっていたと思います。ことばを音楽にするとき、その意味や和音との関係などから、フレーズとしての流れ、抑揚をもっと積極的に作っていくといいです。そうすれば音程などもさらによく予感できます。

（課題曲）4人ですが、一人一人の思いがひしひしと伝わってきました。指揮者なしでよく歌い上げましたね。曲の内容、流れ、構成など、みんなをよく考え、演奏を組み立てていかれたのだと思います。これらの経験は大変貴重なもので、今後の活動に結びつけて欲しいと心から願います。

（うたをうたうとき）各パート1～2名のアカペラは本当に難しかったと思います。でもチームワークの中で一人一人が音楽を心底楽しみ、4人で共感し合えたことは宝ですね。さらなる発展を期待します。

【城東高等学校】

少人数ならではの、きめ細やかな音楽作り、アンサンブル。落ち着いた表現に惹きつけられました。心が温かくなります。一人一人の技量が高く、声もとても魅力的で、好感のもてるすばらしい演奏でした。

（課題曲）優しさあふれる流れに、包み込まれるようです。全体の構成、抑揚もいいです。ひとつひとつのことばが、とてもいいねいに歌われていますが、もう少し深い響きやフレーズ感も欲しいところ。特に p の部分はさらに思いを込めて。□ や ▮ では、もっと流れを大きくとって方向性を持たせるといいなと思います。

（Missa Brevis）声によく合った選曲で、ぶれの少ないすばらしい響きがホールに満ちていました。三和音がよく協和し、また掛留が美しく歌われています。宗教曲といってもどちらかというとホモフォニックな傾向の強い曲で、縦の線もハーモニーもしっかり決めています。同時に横の流れがもう少しあると、曲が生き生きしたかなと思います。2曲目の中間部はもっと動いて。1曲目、3曲目の Re ♭ に、もっと意味を見出して。



Ⅳ 令和３年度 人権に関する児童生徒の作品

●作詞作曲部門 県知事賞

徳島県立名西高等学校 24HR

『LIFE ～あなたらしく 自分らしく 進もう～』

【作詞・作曲に際して】

今年度も新型コロナウイルス拡大で、暗い気持ちになりそうだったので、少しでも元気が出て明るい気持ちになる曲を作りました。

また、学校生活や部活動が楽しくてもどうしても思うようにいかず、辛い気持ちになる時があります。団体競技で「自分が足を引っ張っている？」などマイナスに考えることも、、、でもそんな時こそ、一人で抱え込まずに周りの人を頼ってもいい！ということを伝えたい思いで作りました。

一番伝えたかった「この広い空の下 同じ時を過ごしている 笑わなくていい 泣かなくていい あなたらしく進もう」をサビの部分とし曲の冒頭へ持ってきて印象を与えるように工夫しました。

「LIFE」

～あなたらしく 自分らしく 進もう～

作詩・作曲 徳島県立名西高等学校 24HR

このひろい空の下 同じ時を過ごしている
笑わなくていい 泣かなくていい あなたらしく進もう

生きる幸せ いつまでも続くように
みんなと 一緒にいられるそれだけでいい

苦しいこと 辛いこと たくさんあるだろう
でも忘れないで あなたは一人じゃないってことを

この広い空の下 同じ時を過ごしている
頑張らなくていい 飾らなくていい 自分らしく進もう

生きる喜び いつまでも続くように
何があっても みんなで前に進もう

悲しいとき 泣きたいとき たくさんあるだろう
でも忘れないで あなたは一人じゃないってことを

この広い空の下 同じ時を過ごしている
迷わなくていい 悩まなくていい あなたらしく進もう

このひろい空の下 同じ時を過ごしている
笑わなくていい 泣かなくていい あなたらしく進もう

「LIFE」

～あなたらしく 自分らしく 進もう～

作詩・作曲 徳島県立名西高等学校 24HR

この ひろいー そらのしたー おなじときをー すすごし

でー いる わらわなくていい なかなくていいー あな

たらしくすすもうー いきるしあわせー いつまでもー つづく

ように みんなといっしょにー いられる それだけでー い

い くる しい ことー つらい ことー たくさんある だろうー

でも わすれないでー あなたはひとりじゃないって ことをー この

ひろいー そらのしたー おなじときをー すすごし

でー いる がんばらなくていい かざらなくていい じぶ

んらしくすすもうー いきるよろこびー いつ

までもー つづく ように なにがあーでもー みんなで

まえにすすー も う かなしいときー なきたいときー たく

さんある だろうー でも わすれないでー あなたはひとりじゃないって

ことをー この ひろいー そらのしたー おなじ

ときをー すすごしてー いる まよわなくていい なか

まなくていいー あなたらしくすすもうー

この ひろいー そらのしたー おなじ

ときをー すすごしてー いる わらわなくていい なか

なくていいー あなたらしくすすもうー



●作詞作曲部門 県知事賞

徳島県阿南支援学校高等部 人権委員会&さわやかクラブ 『ねがい』

【作詞・作曲に際して】

- ・人権委員会とさわやかクラブのメンバーみんなで、それぞれ自分の思いを出し合って一つの歌詞につなげていくことができた事が良かったです。
- ・知事賞に選ばれてうれしかったです。
- ・コロナウイルス感染症が収まってくれた時にこんな風になっていて欲しい、こんな生活を送りたいとみんなの気持ちがあふれている歌になりました。
- ・コロナウイルス感染症が収まってくれたら、「ねがい」の歌詞のように楽しいプールや夏祭りや運動会、学校祭ができる日が来るのを願っています。

今は2021年 わたしたちの生活は
本当に かわった
自由な 時間を 過ごすことができる
あたりまえのことが できる日よ
早く もどってきてほしい
マスクを はずせる日が きてほしい
暑い夏には マスクは 大変だ
前のような 自由な生活が もどってきたら
したいことが あるんだ
それは 焼き肉パーティー
遊園地で遊びたい
新幹線に乗って 旅行だ
ねぶた祭りに行きたい
お兄ちゃんが帰ってきたら
家族みんなで プールで遊びたい
温泉に入って おすしを食べたい
小説を 読みたい アー アー アー ア
ワクチンが みんなに 行きわたり
安心安全な 生活を送ることが できるのは
いったい いつに なるのだろう
いったい いつに なるのだろう
幸せな 時間が もどってくることを 願って
みんなで 今の この
苦しい時間を 乗り越えよう
みんなで 楽しく学校生活を送ろう
つらい 思いをしている人の 気持ちを
考えることができるようになろう
そして 自分の夢
卒業したら働いて お金をためて
好きなものを買いたい
家族を楽にしてあげたい
こんな夢が かなうように
自分が やるべきことを 精一杯 しよう
後悔しないように 夢に むかって
前を向いて 行こう

C Em Am Am

いまは ー にせん にじゅういちねん

F G Em Am

わたし たち のー せい か っ はー ほん

F G C C

とうに ー か わ っ た ー じゅ

F G C Am

うな ー じかんを ーすごす こと が できるー あ

F G C C

たりまえの こと が できる ひ よ はや

F G C C C Em

く も っ て きて ほ しいー マスクをはずせるひが ーきて

Am Am F G C C

ほ しいー あつ いなつにはマスクは たいへん だ まえの

F G C Am

よう な じゆうなせい かつ が も っ て き たらー したい

F G C C F G

こと が ー ある ん だ それは やきにくパーティー

Em Am Dm G

ゆうえんちであそびたいー しんかんせんに のって りょう だ

C C F G

ー ねぶた まつりに いきたい おに

Em Am Dm G

いちやんが かえって きたらー かぞく みんなで プールで あそ

C C C Em

びたいー おんせんに はいってー

Am Am F G C C

おすしを たべたいー しょうせつを よみたいー

F G Em Am F D G G

ア ア ア ア ア ア

C Em Am Am

ワクチンが みんなにー いきわたりー

F G E Am

あんしん あんぜん な せい か っ をー

F G C C F G

おくる こと が できる のは ー い っ た い い つ に

Em Am Dm G C C

なる の だろ う い っ た い い つ になる の だろ う

C Em Am Am

しあわせ な じかんが ー も っ て ー くる こと をー

F G C C F G

ね が っ て み ん な で

C Em Am Em F F G G

この くる しいー じかんを の り こ え よ み ん な で

F F G G

たの しく が っ こう せい か っ を おくろ う

F G C C

つらい おもいを しているひとの きもちを かんがえる こと が

F G C C C Em

できるー ように ならうー そして じぶんの ゆめ そ

Am C F G

つぎようしたら はたらいて お かねをー た め

C C F G

て す き な もの を か い た いー か

E Am F G

ぞくを らく に して あげたい こ ん な ゆめ が か

E Am F G

な う よう にー じぶん が やる べき こと を せい い っ ぱ い

C C F G E Am

しょうー こう かいー し な い よにー

F F G G C F

ゆめに むかっ てー まえを むい て い こ うー

G F C F G F C Fm C

ー

V 実践報告

1 フレッシュ研修Ⅰを終えて

池田支援学校 小谷 直也

フレッシュ研修Ⅰでの校外研修と校内研修を通して、教員としての心構えから学級経営の方法や授業技術、家庭や地域との連携まで改めて自分の教員としてのあり方を考える機会を与えて頂き、勉強することができました。1年間大変お世話になりました。以下に、音楽の授業実践を中心に所感を述べたいと思います。

私の担当する音楽の授業では、17名中ほとんどの生徒が4月当初のアンケートで音楽の授業を「とても好き」若しくは「好き」と答えており、音楽に対する興味・関心が高い生徒達でした。一方でスケジュールの見通しが立たないと気持ちが不安定になり、授業に参加できない等、生徒一人一人の特性も様々で、特に指導初期は生徒の実態把握が不十分なこともあり、配慮が難しく感じました。6月から11月までは表現会に向けてドラム、ピアノ、ベースその他打楽器による合奏を主に練習し、T2・T3の先生方にご指導ご助言を頂きながら、生徒一人一人の実態に合わせた楽譜や指導方法の工夫に努めました。

12月に行った研究授業では、3つのグループに分かれ、「ジングルベル」に合わせて叩くリズムと楽器を相談して選択し、発表する活動を行いました。活動の準備や片付けをスケジュールに入れたり、グループ毎の話し合いがスムーズにできるよう、進行表等の教材作りを工夫したりして、生徒が主体的に活動できる場面を増やすことができたと感じています。参観頂いた先生方から、「教員からの介入をもっと減らして生徒の主体性を引き出した方が良い」等貴重なご指導を頂き、今後の授業改善に活かしていきたいと思いました。

今年度の研修を通して、日々の学校生活で生徒と信頼関係を築くことの大切さ、細やかな生徒の実態把握に基づいた指導やポジティブな行動支援等、常に日々の教育実践を見直す機会を頂くことができました。来年度はフレッシュ研修Ⅱを通し、さらに教員としての専門性を高めながら、日々の教育活動に還元していきたいと思います。

音楽科 学習指導案

授業日時：令和3年12月14日（火）6校時

対 象：高等部音楽Bグループ17名

場 所：プレイルーム

授 業 者：T1 小谷 直也 T2 秋田 晴代

T3 野間 豊 T4 安井 真由

1 題材名「みんなでリズム合奏を楽しもう」

2 生徒の実態

高等部の音楽科では、生徒の障がいの実態や特性に応じて、2つのグループに分かれて授業を行っている。本グループは、男子12名、女子5名の計17名で構成されている。音楽に対する興味・関心の高い生徒が多く、楽しみながら合奏や鑑賞等の活動に参加することができる。本題材に関する生徒の実態は次の通りである。

A	1年生男子 知的障がい 【アセスメント】 WISC-IV（H30.10月実施） 全検査IQ49 言語理解55 知覚推理60 ワーキングメモリー 63 処理速度 55 【本題材に関する実態】 ・正確にテンポを合わせることは難しいが、教員の合図やリズム譜を手がかりにして打楽器を演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところに気付いて自ら拍手することができる。 ・自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
B	1年生女子 知的障がい 【アセスメント】 S-M 社会生活能力検査（R3.3月実施） 社会生活年齢 9歳4ヶ月 身辺自立8-9 移動9-11 作業10-9 意思交換8-1 集団参加8-8 自己統制10-3 【本題材に関する実態】 ・楽譜を見ながら、正確なリズムとテンポで打楽器を演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところを言葉で表現し拍手することができる。 ・自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
C	1年生女子 知的障がい 自閉症 注意欠陥多動性障がい 【アセスメント】 S-M 社会生活能力検査（R3.3月実施） 社会生活年齢 5歳11ヶ月 身辺自立5-5 移動4-5 作業7-5 意思交換4-11 集団参加6-6 自己統制6-2 【本題材に関する実態】 ・教員の合図やモデリングを見ながら、正確なリズムとテンポで打楽器を演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところに気付いて自ら拍手することができる。 ・演奏が上手くできなかったときに不安を感じ、活動を中断することもあるが、自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
	1年生男子 知的障がい

D	【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（R 3． 3月実施） 社会生活年齢 6歳9ヶ月 身辺自立8－9 移動6－0 作業11－4 意思交換4－11 集団参加6－0 自己統制5－0 【本題材に関する実態】 ・リズム譜を見ながら、正確なリズムとテンポで打楽器を演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところに気付いて自ら拍手することができる。 ・教員と話し合って楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
E	2年生男子 知的障がい 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（R 3． 12月実施） 社会生活年齢 13歳0ヶ月 身辺自立13－0 移動12－9 作業13－0 意思交換13－0 集団参加11－5 自己統制12－3 【本題材に関する実態】 ・階名をうった音符を見ながら、簡単な旋律やリズムを正確に演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところを言葉で表現し拍手することができる。 ・自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
F	2年生女子 知的障がい 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（R 2． 3月実施） 社会生活年齢 11歳4ヶ月 身辺自立13－0 移動8－1 作業11－1 意思交換13－0 集団参加11－5 自己統制13－0 【本題材に関する実態】 ・階名をうった音符や教員の合図を見て、簡単な旋律やリズムを演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところを言葉で表現し拍手することができる。 ・自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
G	2年生男子 知的障がい， 自閉症， 反抗挑戦性障がい 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（R 2． 3月実施） 社会生活年齢 10歳3ヶ月 身辺自立6－10 移動9－11 作業12－4 意思交換10－8 集団参加8－9 自己統制12－3 ・教員の合図や簡単なリズム譜を見て、正確なリズムで打楽器を演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところに気付いて自ら拍手することができる。 ・練習に見通しが立たないと不安を感じるが、授業のスケジュールや練習計画を手がかりにすることで、自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
H	2年生男子 知的障がい， てんかん 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（R 2． 3月実施） 社会生活年齢 8歳6ヶ月 身辺自立6－10 移動8－1 作業9－2 意思交換7－0 集団参加7－9 自己統制5－7

	【本題材に関する実態】 ・ 正確にリズムとテンポを合わせることは難しいが、教員の合図やモデリングを見て、打楽器を演奏することができる。 ・ 友だちの演奏を聴いて、良いところに気付いて自ら拍手することができる。 ・ 自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
I	2年生男子 知的障がい 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（R 3． 1 2月実施） 社会生活年齢 1 3歳0ヶ月 身辺自立1 3－0 移動1 3－0 作業1 2－4 意思交換1 3－0 集団参加1 3－0 自己統制1 2－3 【本題材に関する実態】 ・ 教員の合図やリズム譜を見ながら、正確なリズムとテンポで打楽器を演奏することができる。 ・ 友だちの演奏を聴いて、良いところに気付いて自ら拍手することができる。 ・ 自分の演奏が上手くできなかったときに不安を感じ、活動に参加できないこともあるが、楽器を個別に練習して自信を持てるようになると、責任を持って演奏することができる。
J	2年生男子 自閉症 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（H 3 1． 3月実施） 社会生活年齢 9歳7ヶ月 身辺自立9－7 移動8－1 作業9－1 1 意思交換9－4 集団参加9－9 自己統制1 0－3 【本題材に関する実態】 ・ 一定のリズムとテンポで演奏することは難しいが、教員の合図やモデリングを見て、タイミングよく打楽器を鳴らすことができる。 ・ 友だちの演奏を聴いて、拍手することができる。 ・ 教員の支援を受けながら、自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
K	2年生男子 不注意、・多動性を伴う自閉症スペクトラム障がい（高機能） 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（R 2． 3月実施） 社会生活年齢 1 0歳3ヶ月 身辺自立8－9 移動9－1 1 作業1 1－4 意思交換9－4 集団参加9－9 自己統制1 2－3 【本題材に関する実態】 ・ リズム譜を見ながら、正確なリズムとテンポで打楽器を演奏することができる。 ・ 友だちの演奏を聴いて、良いところに気付いて自ら拍手することができる。 ・ 自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
L	3年生男子 知的障がい、多動性障がい 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（H 3 1． 3月実施） 社会生活年齢 9歳1ヶ月 身辺自立9－7 移動1 0－1 0 作業1 2－1 意思交換1 0－8 集団参加1 1－5 自己統制8－8

	【本題材に関する実態】 ・リズム譜を見ながら、正確なリズムとテンポで打楽器を演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところを言葉で表現し拍手することができる。 ・自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
M	3年生女子 知的障がい、自閉症、注意欠陥多動性障がい 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（H31. 2月実施） 社会生活年齢 8歳4ヶ月 身辺自立10－6 移動6－6 作業10－10 意思交換7－2 集団参加8－7 自己統制7－10 【本題材に関する実態】 ・教員の合図やリズム譜を見ながら、正確なリズムとテンポで打楽器を演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところを言葉で表現し拍手することができる。 ・自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
N	3年生男子 知的障がい、注意欠陥多動性障がい、軽度発達遅滞 【アセスメント】 WISC－IV（R1. 5月実施） 全検査IQ68 言語理解 58 知覚推理80 ワーキングメモリー68 処理速度64 【本題材に関する実態】 ・教員の合図やリズム譜を見ながら、簡単なリズムを正確に打楽器で演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところに気付いて自ら拍手することができる。 ・自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
O	3年生男子 知的障がい 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（R3. 5月実施） 社会生活年齢 9歳7ヶ月 身辺自立9－7 移動8－1 作業9－11 意思交換9－4 集団参加9－9 自己統制10－3 【本題材に関する実態】 ・教員の合図やリズム譜を見ながら、正確なリズムとテンポで打楽器を演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところを言葉で表現し拍手することができる。 ・自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
P	3年生男子 知的障がい、自閉症 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（R3. 5月実施） 社会生活年齢 8歳7ヶ月 身辺自立8－9 移動7－0 作業9－2 意思交換8－1 集団参加7－9 自己統制9－3

	【本題材に関する実態】 ・リズム譜を見ながら、正確なリズムとテンポで打楽器を演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところを言葉で表現し拍手することができる。 ・自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。
Q	3年生女子 知的障がい 【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（R 3． 5月実施） 社会生活年齢 6歳10ヶ月 身辺自立7－6 移動6 作業9－2 意思交換6－7 集団参加6－6 自己統制5－7 【本題材に関する実態】 ・リズム譜を見ながら、正確なリズムとテンポで打楽器を演奏することができる。 ・友だちの演奏を聴いて、良いところを言葉で表現し拍手することができる。 ・自分で楽器を選択し、責任を持って演奏することができる。

3 題材設定の理由

本グループは、楽譜を見ながら簡単な旋律やリズムを楽器で演奏できる生徒、教員の支援を受けてリズム打ちができる生徒、活動の内容によって集団での活動が難しい生徒等があり、生徒の実態や音楽表現に必要な技能の習得も様々である。しかし音楽に対する興味・関心は高く、本年度4月に実施したアンケートではほとんどの生徒が音楽について「とても好き」または「好き」と回答した。本年度の音楽で取り上げた題材は、4月、5月は簡単なリズムによるボディーパーカッションや曲当てクイズ、鑑賞等を行い、6月上旬から11月上旬までは表現会の練習として「夜に駆ける」の楽器合奏を行った。生徒はそれぞれ打楽器（和太鼓、コンガ、カホン等）、キーボードやベース等の楽器を選択し、自分のパートに責任を持って練習し発表することができた。繰り返し練習を進める中で、自分の担当するパートについてはうまく演奏できるようになった一方、友だちの演奏に耳を傾ける、友だちと音や気持ちを合わせて演奏しようとするまでではなかった。また、合奏で自分の失敗したことが気になるなど、自分の演奏に自信が持てない様子の生徒も見られた。そこで、自分たちのパートをうまく演奏できるようになってきたことをベースにして、さらに合奏の学習を重ねることを通して、次のことを目指すこととした。

- ① 自分で目標を立てて練習し自己評価をすること
- ② 友だちの音を聴きながら一緒に演奏し、発表し合うことで、自分や友だちの演奏の良いところに気づいたり、友だちと心を合わせて合奏することの楽しさを感じたりする

①②の活動を通して、楽器の演奏を楽しみつつ自己の練習の成果をポジティブに受け止め、次の課題に取り組もうという意欲を高めること、合奏を通じてお互いの良さや努力を認め合える集団づくりの力や音楽活動を楽しむ心情を高めてほしいと考え、本題材を設定した。

「特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年告示）第2章各教科第2節知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校」の「音楽」の目標に「音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、

豊かな情操を培う」と記されている。さらに各段階の目標及び内容の第1段階には「主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、（中略）生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う」と記されている。

以上を踏まえて本題材は、「みんなでリズム合奏を楽しもう」というテーマの活動とした。特に、本題材を実施する上で次の2つのことを重視する。まず、生徒一人一人が主体的に活動に取り組み、曲の雰囲気を楽しむながら合奏を楽しむことである。楽器はトーンチャイムやハンドベル等、どのような実態の生徒でも操作や演奏が簡単かつ表現を変化させた結果が分かりやすいものを選び準備する。さらに教員が演奏の示範をし、演奏の仕方によって同じ楽器でも聞こえる音が変わることを示し、それぞれの楽器の音の魅力を生徒が感じるよう示範したり説明したりして働きかける。そして、生徒が自分の演奏する楽器やリズムをグループの生徒同士で話し合って選択し、お互いに協力して練習する機会の設定をする。また、「目標シート」に各自で練習の目標を書いて自己評価する活動を入れることで、見通しを持って練習に取り組むとともに自身の目標を意識して表現の仕方を自分なりに工夫しながら練習するよう働きかける。これらの活動を通して音楽を楽しむ心情を養うとともに、主体的に合奏の練習等に取り組みながらグループの中で責任をもって自分の楽器を演奏できるようになることを期待する。二つ目に、生徒同士で協力し、互いの良いところを認め合う機会を積極的に設けて相互に自尊感情を高めることを目指したい。合奏で使用する曲は、誰もが知っている曲や季節に合わせた曲を準備する。よく知っている曲を使って、友だちとリズム合奏の練習をしたり発表し合うなかで、曲から感じるイメージを友だちと共有したり、他のグループの演奏を聞いて良いところを認め合えるようにする。また、楽器やリズムの選択をする活動を通して、生徒全員が自己選択や話し合いに参加できるようにする。その際に、教員からのフィードバックに加え目標シートを使った自己評価、発表に対する友だちからの評価を通して、仲間と一緒に取り組んだ実感を持つとともに、個々の自己有用感や自己肯定感等の自尊感情を高めることにつなげたい。

本時では、「ジングルベル」に合わせたリズム合奏を、3つのグループに分かれて実施する。グループの分け方は、表現会でのグループ分けと同じにする。本時が本題材2時間目の授業ということもあり、一緒に練習し慣れたグループで行う方が、生徒も活動に参加しやすいと考えたからである。また、学習内容や目標を明確にし、生徒が見通しを持って授業に参加できるよう、常時スケジュールと目標を掲示する。グループに分かれて合奏の練習を始める前に、「目標シート」を使って今日の授業でがんばりたいことを確認する。合奏の練習を行うため3つのグループに分かれる際は、ホワイトボードやリズム譜を生徒同士が話し合って準備するよう、教員が必要に応じて声かけや指さしをする。合奏の練習は、良かった点を教員が即時にフィードバックしたり、テンポがわかりやすいようスティックでカウントをとったりする。そうすることで、生徒一人一人が自信を持って活動に参加できるとともに、友だちの音を聞きながらテンポの調節を行うなど、表現の工夫をして主体的に活動に取り組めるようにする。また、振り返りの場面では教員がiPadで撮影した動画を用いて、自分達や他のグループの演奏を聞いて客観的に良いところを見つけ、友だち同士で頑張ったところを認め合う機会を設定する。さらに友だちや教員からの評価を聞き、「目標シート」を使って自己評価し、できたことへの達成感を味わうことで自己肯定感を育みたい。

以上のことから、友だちと協力してリズム合奏を練習、発表する活動を行うことで、生徒一人一人が自分や友だちの良さに気づき、自信を持って演奏しながら音楽を楽しむ心情を養うことができると考え、本題材を設定した。

4 題材の目標

- 楽器の奏法やリズムを守り，友だちと合奏することができる。（知識・技能）
- 自分や友だちの演奏を聴き，良いところを見つけ，伝えることができる。（思考・判断 ・表現）
- グループの友だちと協力し，練習や発表に参加しようとする。（主体的に学習に取り組む態度）

5 本題材の指導計画(全13時間)

(1) クリスマス曲に合わせて合奏をしよう (2時間)

- ・合奏する楽器やリズムを決めよう・・・1時間
- ・グループで合奏を練習して発表しよう・・・1時間（本時1／1）

(2) 1月の曲に合わせて合奏をしよう (3時間)

- ・合奏する楽器やリズムを決めよう・・・1時間
- ・グループで合奏を練習しよう・・・1時間
- ・グループで合奏を発表しよう・・・1時間

(3) 2月の曲に合わせて歌や合奏をしよう (4時間)

- ・合奏する楽器を決め，リズムを選んだり考えたりしよう・・・1時間
- ・季節の歌を歌ったり，グループで合奏を練習したりしよう・・・2時間
- ・グループで合奏を発表しよう・・・1時間

(4) 3月の曲に合わせて歌や合奏をしよう (4時間)

- ・合奏する楽器を決め，リズムを選んだり考えたりしよう・・・1時間
- ・季節の歌を歌ったり，グループで合奏を練習したりしよう・・・2時間
- ・グループで合奏を発表しよう・・・1時間

6 本時の個別目標

生徒	目標
B, E, F, I, K, L	・曲を聴きながら，友だちとリズムやテンポを合わせて演奏することができる。 ・友だちの発表を聴き，拍手をすることができる。 ・任された役割や自分の担当楽器の演奏に，最後まで取り組むことができる。
A, C, D, G, H, M, N, O, P, Q	・教員の合図やリズム譜を見ながら，友だちとリズムやテンポを合わせて演奏することができる。 ・友だちの発表を聴き，拍手をすることができる。 ・任された役割や自分の担当楽器の演奏に，最後まで取り組むことができる。
J	・教員の合図やリズム譜を見ながら，友だちと一緒に演奏することができる。 ・友だちの発表を聴き，拍手をすることができる。 ・教員の支援を受けて，自分の担当楽器の演奏に最後まで取り組むことができる。

7 本時の展開

時間	学習活動	支援上・指導上の手立て		学習活動における 具体の評価規準
		T 1	T 2・3・4	
1分	1 始まりの挨拶をする。	・授業の開始を伝え、号令をかける生徒を呼名し、挨拶を促す。	・始まりの姿勢ができていない生徒には、姿勢や注目を促す。	・始まりの挨拶をすることができる。(技能的側面)【全員】 ・T1に視線を向け、説明を聞くことができる。(価値的・態度的側面)【全員】
4分	2 本時の内容の確認をする。	・ホワイトボードに本時のスケジュール表を掲示し、説明をする。 ・「目標シート」を配布し、今日の目標を確認する。	・注目できていない生徒には、注目を促す。 ・「目標シート」に注目できていない生徒がいたら、注目を促す。	
20分	3 合奏をする。 曲目「ジングルベル」 ①グループごとに、選択したリズムを順番に確認する(全体)。 ②グループ練習の準備をする。 ③各グループに分かれて練習する。	・ホワイトボードに提示したリズム譜に注目するよう促す。 ・各グループでホワイトボードを指示した場所に移動し、リズム譜を貼って準備するよう促す。 ・自分の演奏する楽器を準備し、グループ毎に決められた所定の位置に移動するよう促す。 ・CDを持って、各グループを順番に見て回る。 ・リズム打ちの速度が崩れた場合は、スティックでカウントし、正確に合わせられるよう配慮する。	・ホワイトボードに注目できているか確認する。注目できていない生徒には、注目するよう言葉かけをする。 ・ホワイトボードとリズム譜の準備ができていない場合は、声かけや指さしで準備を促す。 ・自分の楽器を準備できていない生徒には、声かけや指さしで準備を促す。 ・各グループに一人ずつ(T2, T3, T4)つき、リズム譜を示しながら練習を促す。 ・一人でリズム打ちをするのが難しい生徒や、リズム打ちをすることに不安感がある生徒の側に行き、一緒に叩くようにする。	・ホワイトボードに視線を向け、リズム打ちをすることができる。(価値的・態度的側面)【全員】 ・友だちと協力して、ホワイトボードやリズム譜、楽器の準備をすることができる。(価値的・態度的側面)【全員】 ・同じグループの友だちと、リズムやテンポを合わせて演奏することができる。(技能的側面) (価値的・態度的側面)【A, B, C, D, E, F, G, H, I, K, L, M, N, O, P, Q】 ・同じグループの友だちと、一緒に演奏することができる。

13 分	④グループごとに発表をする。	・リズム打ちが上手くて、言葉やサインで称賛する。 ・前時に決めたグループのリーダーに、発表の号令をするよう促す。	・リズム打ちが上手くて、言葉やサインで称賛する。	・発表の号令をかけることができる。(技能的側面)【グループのリーダー】 ・号令に合わせて挨拶をすることができる。(技能的側面)【全員】
	4 発表の様子をTVで見ながら、「目標シート」に 記入する。	・発表するグループに注目するよう促す。 ・リズム打ちの速度が崩れるなど、発表が上手くて、発表が上手くて、言葉やサインで称賛する。 ・友達ちの発表が終わったら、拍手をするよう促す。 ・動画をみて振り返りを行い、良かった点を称賛する。 ・「目標シート」に振り返りを記入することができていない生徒がいたら、記入するよう促す。	・発表するグループに注目できていない生徒がいたら、注目するよう促す。 ・上手く発表ができている時は、言葉やサインで称賛する。 ・上手く発表ができている時は、言葉やサインで称賛する。 ・拍手ができていない生徒がいたら、拍手をするよう促す。 ・「目標シート」に振り返りを記入することができていない生徒がいたら、記入するよう促す。	・同じグループの友だちと、リズムやテンポを合わせて発表することができる。(技能的側面)(価値的・態度的側面)【A, B, C, D, E, F, G, H, I, K, L, M, N, O, P, Q】 ・同じグループの友だちと、一緒に発表することができる。【J】 ・友だちの発表を聴いて、拍手をすることができる。【全員】・「目標シート」に振り返りを記入することができる。(価値的・態度的側面)【全員】
	1 分	5 まとめの話を聞く。	・本時の活動を振り返る。	・T1 に注目できていない生徒がいたら、注目するよう促す。
1 分	6 終わりの挨拶をする。	・授業の終了を伝え、号令をかける生徒を呼名し、挨拶を促す。	・終わりの姿勢ができていない生徒には、姿勢や注目を促す。	・終わりの挨拶をすることができる。(技能的側面)【全員】

9. 準備物

ピアノ，トーンチャイム，ハンドベル，鈴，タンバリン，トライアングル，ウッドブロック，TV，CDプレーヤー，iPad，HDMI ケーブル，延長コード，本時スケジュール表，ホワイトボード×3，リズム譜×3，目標シート

もくひよう 目標シート♪ だ がつ き がつ そう 打楽器合奏「ジングルベル」

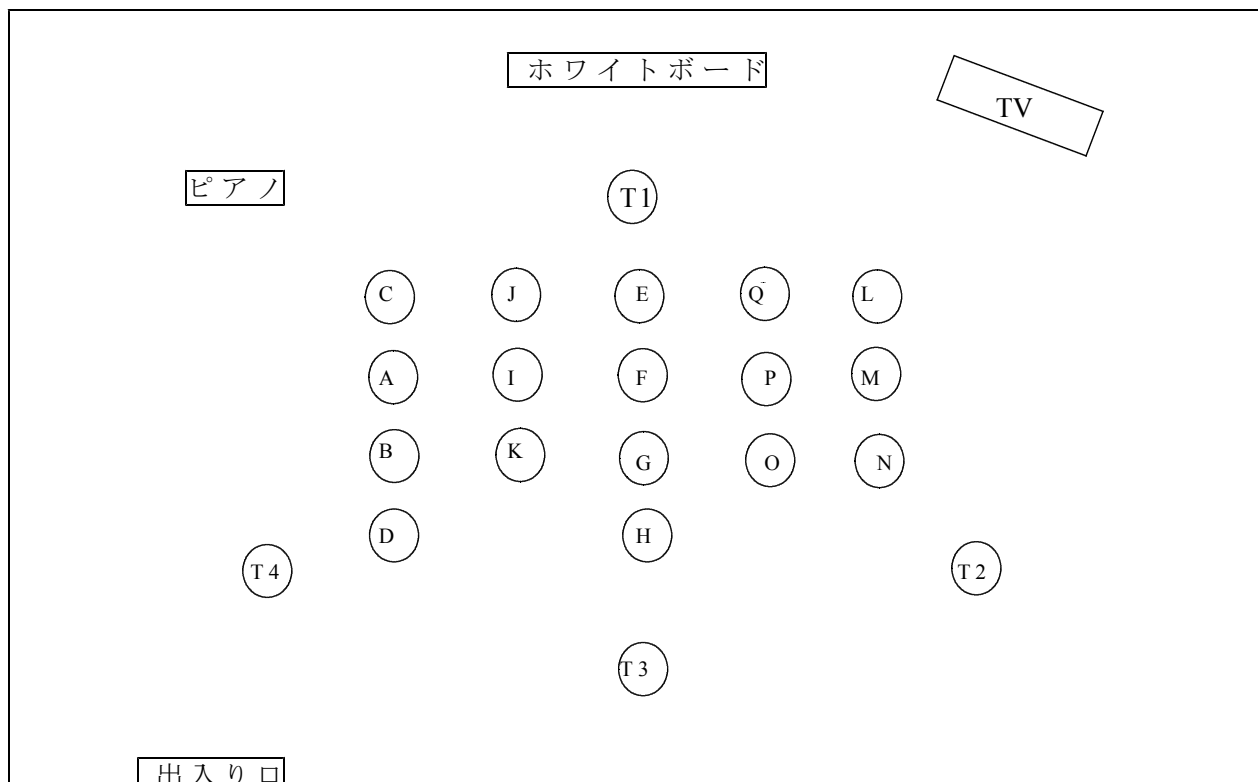
月 日 ()

なまえ
名前

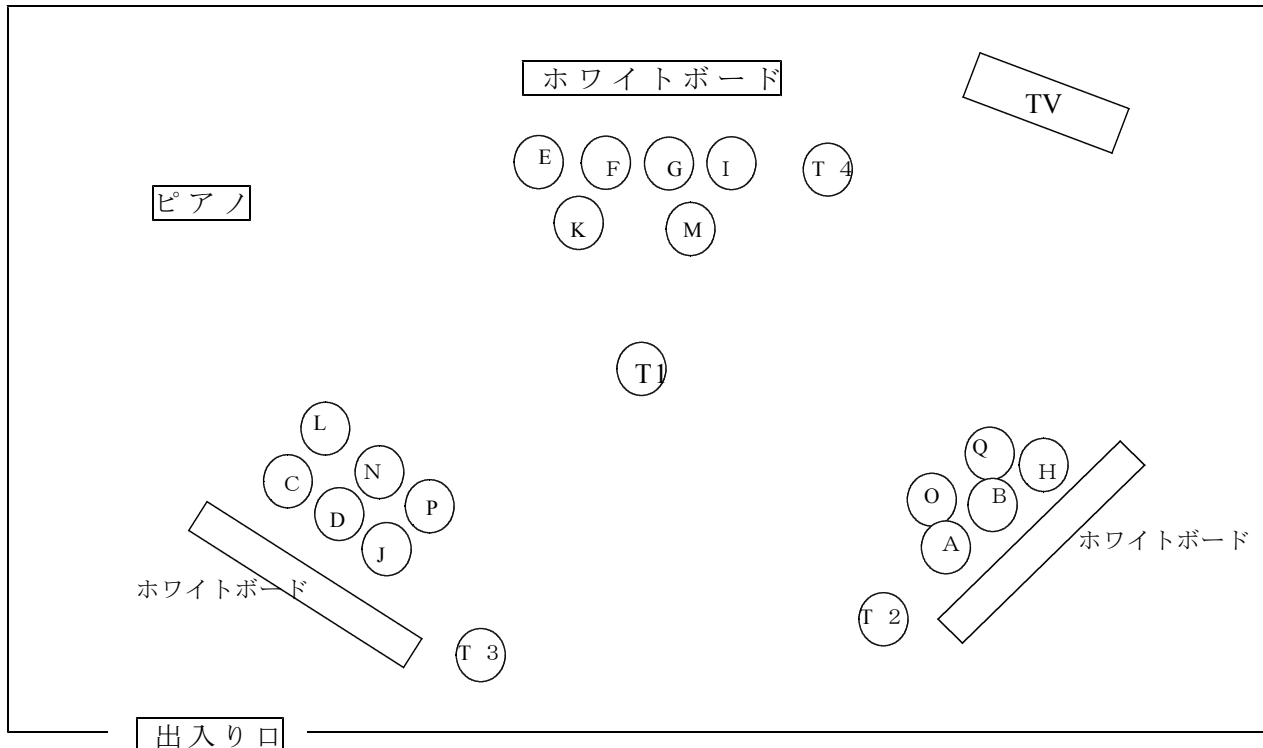
れんしゅうないよう 練習内容【 たんとう がつ き 担当する楽器【 】	
きよう もくひよう 今日の目標	がんばり度
① とも だちの音をよく聴いて、協力して演奏できる。	○ △ ×
② 自分の楽器を、最後まで演奏できる。	○ △ ×
③ とも だちの演奏を聴いて、良いところを見つけられる。	○ △ ×

10. 教室配置

【始まりの挨拶，振り帰り，終わりの挨拶時】



【合奏練習・発表時】



フレッシュ研修Ⅰを終えて

富岡東中学校・高等学校 梅本 香織

新型コロナウイルス感染拡大とともにフレッシュ研修を迎えました。これまでの「あたりまえ」がそうではなくなり、授業や部活において制限ばかりで気持ちが落ち込むことも多くありますが、無事にフレッシュ研修を終えることができたことに安堵しています。支えていただいた方々に本当に感謝しています。

フレッシュ研修Ⅱでの研究授業では、歌唱表現を行いました。「Oh Happy Day」は大好きな曲。私自身も長年歌ってきた思い出深い曲です。その楽曲を、いわゆる「ニューノーマル」な環境で生徒とともに歌唱表現できたことは、私にとってこれからの糧となりました。

今、かつて誰も体験したことのない日常を生きています。まだまだ制限のかかる状況ではありますが、だからこそ、音楽を通して生徒とともに過ごすことができるありがたさをかみしめながら、
今後も研鑽を積んでいきたいと思います。

芸術科（音楽）学習指導案

令和3年12月3日第2時限
富岡東高等学校 11HR 13名
指導者 梅本 香織

1 題材 ゴスペルの魅力

2 題材の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。
- (2) 「Oh Happy Day」のリズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。
- (3) 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。

3 教材 「Oh Happy Day」 （映画『天使にラブソングを2』から） エドウィン・ホーキンス作詞・作曲／植村幸一編曲

4 題材について

(1) 生徒の実態

対象生徒は第1学年商業科の音楽Ⅰ選択生13名である。本クラスは、明朗活発な生徒が多く、新しい知識や技能の習得に対して強い興味・関心を持っている。2学期から取り組んだピアノでの表現活動においても、大変意欲的であった。しかし、コロナ禍で歌唱活動を制限してきたことなどもあり、歌唱表現においては消極的な生徒が多い。

本題材に取り組むにあたり、ゴスペルについてアンケートを実施した。ゴスペルを初めて歌う生徒がほとんどであったが、「歌っているとき楽しそう」「元気になる」「カッコいい」などの意見があり、全員がゴスペルに対して興味・関心を持っていることがうかがえた。

(2) 教材について

ゴスペルとは、神からのよい知らせや救いのメッセージを指す「福音」という意味で、神に祝福された喜びを歌うものが多い。17世紀頃、奴隷として過酷な労働や厳しい生活を強いられていたアフリカ系アメリカ人たちが、心の支えを神に求めて歌った、賛美歌とアフリカ人独特の音楽的感性との融合から生まれた「スピリチュアル」がゴスペルのルーツである。アフリカ系アメリカ人が困難な状況にあって、生きる希望として歌われ、愛されたゴスペルを表現することは、コロナ禍におかれた生徒たちにとって有意味であると考えた。

『Oh Happy Day』は、映画『天使にラブソングを2』にも使われたゴスペル・ソングである。イエスが十字架にかけられたことによって、差別や貧困から生まれた絶望、憎しみ、嫉妬、怠惰、慢心、差別などの人間の罪が許されたという喜びや感謝を歌っている。短いフレーズや旋律の繰

り返し，コール（呼びかけ）＆レスポンス（応答），ボディーアクションの活発さが特徴的であることから生徒たちが意欲的に楽しんで歌唱表現に取り組める楽曲である。

（３）指導にあたって

生徒たちがこれまでに経験したことが少ないゴスペルを歌唱表現することで，音楽的視野を広げるとともに，曲を完成したときの達成感と充実感を味わわせたい。

まず，楽譜の分析からゴスペルのもつ音楽の特徴である形式，リズム，旋律を理解させ，技能の習得を図る。

そして，コール＆レスポンスや和音の響き，身体表現に関心をもたせることで，生徒の「このような表現がしたい」という気持ちを高め，適切な手だてを講じながら，生徒たちが思いや意図をもって表現する過程を大切にしたい。

本題材を通じ，生徒たちがゴスペルの文化的・歴史的背景について，実感を伴って理解を深められることを念頭に置き指導を進めたい。

５ 学習指導要領との関連

A 表現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する

（１）歌唱

歌唱に関する次の事項を身に付けることができるように指導する

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫すること

イ 次の（ア）から（ウ）までについて理解すること

（ア）曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり

ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，次の（ア）から（ウ）までの技能を身に付けること

（イ）他者との調和を意識して歌う技能

６ 題材の評価規準

【新】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【知】 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，他者との調和を意識して歌う技能を身に付け歌唱で表している。【技】	・リズム，旋律，テクスチャを知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて表現意図をもっている。【思】	・曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【態】

7 指導と評価の計画

次	時	教材	◎ねらい●学習内容・学習活動	◇評価規準 ◆評価方法	要素
	①	MOUSA I	◎ゴスペルの歴史を知るとともに、曲想やゴスペルの音楽の特		旋律 リズム テクスチャ
	②	ゴスペルに について (ワークシート)	●ゴスペルの歴史を理解する。 ・ワークシートから、ゴスペルの歴史について知識を得る。 ●ゴスペルのリズムや旋律、表現の特徴を捉える。 ・映画『天使にラブソングを2』より「Oh Happy Day」を鑑賞する。 ・リズムに留意しながらコール部分とレスポンスパートの音を取る。		
	③		◎知識・技能を生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現をおこなう。		
	④				
	⑤	ワークシート①	●パートに分かれて練習をする。 ・各パートに分かれて前半部と後半部の音取りをする。 ・コールとレスポンスについて理解する。 ●合唱をする。 ・和音の響きを感じ取りながら歌う。 ●ボディーアクションを考える。 ・参考演奏を試聴し、ボディーアクションを考える。 ・録音や録音を聴いて、ボディーアクションをすることによる表現効果を確認し合ったり、アイデアを共有しあったりする中で、音楽の諸要素との関わりを考える。		
	(本時)				
⑥	ワークシート②	◎まとめの演奏をし、達成感を味わう。			
		●発表会を行い、学習のまとめをする。 ・ワークシートに工夫した内容や表現効果についての自己評価をする。 ・ワークシートに、創意工夫の内容やその表現効果についての自己評価をする。			

8 本時の目標

(1) 目標

- ・ 楽曲の構成や特徴を捉え、他者との調和を意識して歌唱表現する。

(2) 展開

学習活動	○指導上の留意点	◇評価規準 ◆評価方法	要素
1. 発声練習を行う。	○姿勢や発声について着目させる。 ○意欲的に歌える既習曲を歌う。		旋律
2. 本時の目標を確認する。	○プロジェクターを用いて、本時の目標や学習内容を提示し、確認させる。		
旋律の動きや楽曲の構成に着目しながら、他者との調和を意識して歌おう			
3. 楽譜を通して楽曲の構成を確認する。	○ワークシートを通して、前時の復習をする。	◇技 ◆活動の観察 ◆演奏の聴取	
4. 「Oh Happy Day」歌う。	○グループで各パートの旋律を確認する。 ○各パートの響きを意識して歌うように促し、全体で歌う。	◆ワークシート	
5. ボディーアクションを考える。	○グループで試行錯誤しながら表現を工夫するように伝える。 ○タブレット端末を使い、録画・録音をし、客観的に振り返るように助言する。		
6. まとめ	○本時に学習した内容を生かされるように助言し、全体合唱する。 ○演奏の振り返りをさせる。 ○ワークシートを用いて、本時の学習内容を振り返り、次時の学習内容を知らせる。		

(3) 評価及び指導（手だて）

【技】

(A) と判断される具体的な状況	・担当パートや全体での合唱において、旋律を知覚し、お互いの声を聴き合いながら、旋律やリズムに気を付けて、表現意図をもって歌っている。
B（おおむね満足できる）状況を実現するための具体的な指導	・他者からのアドバイスを大切にさせ、演奏に取り入れるように助言する。

2 ジャンプアップ研修を終えて

名西高等学校 上原 慎太郎

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策等で、音楽科の授業、部活動、また教育活動全体の制限や縮小で生徒も教員も思うように、そして満足のできる活動をするのが難しい年となりました。母校へ赴任して2年目、そして5年次という節目の年を迎えましたが、コロナ収束の見通しが立たない暗い世の中から早く脱出できる日を望みながら、前向きに研修に取り組みました。

今回の研修にあたり、本校音楽コースの先生方をはじめ校内の先生方、委員会の先生方のご指導を頂きまして大変勉強になりました。ありがとうございました。

コロナ禍で生徒たちは、今できること、そして今求められることに必死に取り組んでいます。その一つとして、ICT の活用について積極的に実践することが挙げられます。本校芸術科音楽コースでは毎学期に一度、実技テストを実施しています。また、年に1度石井町藤ホールでの「研究演奏会」では音楽コース全学年の前で演奏を披露する機会もあり、生徒たちはこの演奏会に向けて特別な思いを持ちながら日々練習に取り組めます。

そこで、生徒が取り組んでいる楽曲の分析や時代背景、楽曲の聴き所を Metamoji を活用してまとめることができないかと考えました。演奏だけでなく、何か形や心に残る物を残したいと思い取り組ませました。生徒たちは、本やインターネットで調べた情報を駆使し、学習に向かっていました。生徒たちの演奏や学習の取り組みを見ていると、改めて、音楽は技術の向上だけでなく、作曲家と向き合い研究し、聴衆のことを考えながら、音楽に対しての思いや考えを音楽に乗せて伝えていくことが大切であると再確認させていただきました。

5年次の研究授業では幸いにも、感染者が少なく、歌唱や楽器の演奏ができたことがありました。たかったことです。フレッシュ研修では特別支援学校での勤務でしたので、音楽科の教科指導を受けていなかった為、不安はありましたが、生徒たちは知識や技術を最大限に生かして、音楽を表現してくれました。

来年度は、思いっきり、そして生徒も教員も満足する活動ができることを願いつつ、次のミドルリーダー研修へ向けて、日々研鑽を積みたいと考えていますので、今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

Metamojiを使った生徒の作品

令和3年度 第2学年 研究演奏会へ向けて

HRNO. 名前「 」

専攻実技

作曲家の画像
アンドレ・メサジェ フランス近代の作曲家、指揮者。
もとは宗教曲の作曲家だったが、後期ロマン派音楽の流れを汲むオペラやオペレッタの創作に転じた。
パリに学び、ニードルメイユ音楽学校にて時期
サン＝サーンスに師事。

楽曲について
フランス近代の作曲家アンドレ・メサジェによって作曲されたクラリネットとピアノのための作品です。フランスの作曲家ラポーの同名作品とともに、現在ではクラリネットソロの重要なレパートリーとしてコンクール、演奏会等でよく演奏されます。

生誕：1869年12月30日
没後：1920年2月24日

副専攻実技

作曲家の画像
フレデリック・フランソワ・ショパン

楽曲について
ショパンにとって初めて出版されたワルツ作品となる本作はウィーン・ワルツの影響を色濃く残しており、第6番「小犬のワルツ」などと共にショパンの作曲したワルツの中でも最も有名なワルツの1つとして知られています。華やかなファンファーレから始まり、第1主題は、上昇していく最初の4小節と下降していく後の4小節がそれぞれ呼応しているようで、とても上品で優美です。

令和3年度 第2学年 研究演奏会へ向けて

HRNO. 名前「 」

— 専攻実技 —

創作主題によるファンタジー
J.ドゥメルスマン
・1833年 フランス北部Hondschootに生まれる
・フランスのフルート奏者

楽曲について
最初のなだれ込むようなピアノの序奏から始まり、無伴奏のカデンツァから技巧的で輝かしいフィナーレまで、奏者にとっても聞き手にとっても楽しめる作品です。

— 副専攻実技 —

ポロネーズ第三番イ短調 op.40-1
フレデリック・フランソワ・ショパン
・1810年（1809年説もあり）ポーランドに生まれる
・ピアノの詩人と呼ばれる

楽曲について
ショパンの作品としては驚くほど単純な形式で、序奏もコーダも経過部も持たない複合三部形式で書かれています。主部はイ長調、中間部はニ長調であるが曲想にあまり変化はなく堂々としたリズムの伴奏の上でオクターブで旋律を弾いています。

令和3年度 第2学年 研究演奏会へ向けて

HRNO. 名前「 」

専攻実技

序奏とロンド op.72
/C.M.ヴィドール

楽曲について
去年の12月に聞いてずっと演奏してみたかった曲。
この曲で何度かコンクールに出て、今ではクラリネットの曲の中で1番大好きな曲です。
色々な人の演奏を聞いて自分なりの表現方法を考えました。
速いパッセージから朗々と歌う旋律に注目してお聴きください。

副専攻実技

無言歌集より「プレストアジタート」
/F.メンデルスゾーン

楽曲について
この曲は別名「胸騒ぎ」といいます。胸がドキドキするような胸騒ぎというよりは、心臓がバクバクし、怒りに任せて感情が爆発しているイメージや、何かに急かされているような焦燥感を持ち、先走り焦らないように気を付けて演奏をします。

音楽理論 学習指導案

生徒 芸術科音楽コース 24HR 15 名

指導者 上原 慎太郎

1 題材 楽曲のハーモニーを感じながら壮大な音楽表現の工夫を考えよう

2 題材の目標

- (1) 創意工夫を生かした音楽表現をするために、必要な知識を得るとともに音楽理論を表現の学習に活用する思考力、判断力、表現力を育成する。
- (2) 和声進行（コード進行）の響きの特性を感じ、表現意図を持って演奏する。

3 題材について

(1) 生徒の実態

本学級は音楽を専攻する生徒が在籍しており、授業では「音楽理論」を含め音楽の基礎ベースとなる「聴音」や「視唱」等の授業を受けている。生徒一人ひとり専攻する楽器は異なるが、音楽への関心が高い生徒が多い。学期に1回専攻実技・副専攻実技を披露する実技テストを実施している。テストの直前まで表現の工夫を考えたり、より楽曲にふさわしい表現を日々考え、自分と向き合っている生徒も多い。本番の演奏へ向けての取り組みとしては、各レッスンの教員からご指導・ご助言を頂いたことを素直に聞き入れ表現の工夫に生かすことは十分できた。しかしながら、生徒が自ら楽曲を分析をして、表現の工夫に生かそうとする生徒が少ないのが現状である。

そこで、「音楽理論」の和声法の学習を通して、どのように音楽を表現したいか、また和音進行の特性や響き方を感じ取り、表現の工夫について根拠を持って言葉や演奏で表現することができるようになって欲しい。

(2) 教材について

本楽曲の『My Heart Will Go On』は映画「タイタニック」のテーマ曲である。1997年のアカデミー歌曲賞を受賞、グラミー賞では最優秀レコード賞等を総なめにしている。日本においては、第40回日本レコード大賞、日本ゴールドディスク大賞を受賞している。タイトルの歌詞の中で「私の心は生き続ける」、「愛する人はもう亡くなっているけれど、私の心の中で生き続ける」という歌詞の意味と壮大な映画のストーリーとマッチングした曲となっている。曲の冒頭は素朴なりコーダーの音色と弦楽器（ストリング）のハーモニーから始まり、曲が進むにつれてこの映画の規模でもある壮大さと掛け合わせるようなフィナーレとなる。短い曲であるが、音楽的な特徴や曲想の変化が感じ取りやすく、またメディアにおいても度々放映されているので、生徒も聴いたことある者が多かった。

(3) 指導に当たって

本楽曲では、和声進行（コード進行）について着目しながら、音楽理論で学んでいる「和音」について照らし合わせて学びを深める。実際に、演奏しながらしながら、音や和音とイメージと関わり方の特徴を考え、和音から和音へ移るときの音楽的な緊張感や高まり、また次の音へどのような変化や工夫をし、最終的にどのように表現をしていくのかを考えさせる。また、自分の考えが深まるようグループ活動で意見を交換して、効果的な表現の工夫を考えさせる。映画のストーリーや歌詞の意味、音楽理論上での音の方向性等、総合的に判断をして音楽を形作っている要素を知覚しながら、音楽理論の深まりをを学習する。このような学習を活動を通して、各グループで共同しながら考えや表現の工夫を深め合うことで、音楽の見方・考え方を働かせ、音楽の良さ美しさを味わうとともに、生徒たちの人生が音楽によってより豊かなものになることを願って、本題材を設定した。

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①旋律や和音の特徴及び音のつながり方の特徴について、表現したいイメージと関わらせて理解している。 ②創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識や必要な奏法を身につけている。	①音楽を形づくっている要素(旋律・テクスチャ・強弱・構成)や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す資質や雰囲気を感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すか考え、表現の創意工夫をしている。	①音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現活動に取り組もうとしている。

5 指導と評価の計画

時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	◇評価規準 ◆評価方法	要素
①	◎旋律のつながりや、ハーモニー（和声）について理解する。		
	○楽曲を DVD や CD を鑑賞し、楽曲全体の雰囲気を捉える。 ・感じ取ったイメージをワークシートに記入させる。 ・楽譜を見ながら音楽を聴き、主旋律の演奏の工夫を考える。	◇旋律や和音の特徴及び音のつながり方の特徴について、表現したいイメージと関わらせて理解している。【知①】 ◆ワークシート	

② ③	◎コード進行（和音）について理解し、楽曲の雰囲気やそれぞれの場面に合った表現の工夫を考える。		旋律
	○色々なコード進行を提示し、他のコード進行との特徴の違いについて理解する。	◇創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識や必要な奏法を身につけている。【技②】	強弱
	・楽譜を見ながら音楽を聴き、コード進行の特徴について理解する。 ○楽器（ギター、ピアノ、キーボード等）でコードを演奏する。 ・「Em」「D」「Dsus4」「D7」「C」の5種類のコードを演奏する。	◆活動の観察・ワークシート	構成
			テクスチャ
④ (本時)	◎曲想に合った表現の工夫を発表をして、表現の工夫する大切さや喜びを得る。		
	○作品への自己評価や客観的評価を通じて、活動全体の振り返りを行う。 ・各グループごとに発表し、観客からの感想や意見を確認し、活動全体への自己評価・感想をワークシートに記入したり発言したりする。	◇音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知（旋律・テクスチャ・強弱・構成）知覚し、それらの働きが生み出す資質や雰囲気を感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すか考え、表現の創意工夫をしている。 ◆活動の観察・ワークシート	

6 本時の学習

(1) 目標 ハーモニーを感じながら曲想に合った表現の工夫を考え、イメージにあった表現の工夫をする。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点	◇評価規準 ◆評価方法	要素
1 「My Heat Will Go On」を演奏する。	○主旋律とハーモニーの響きを感じながら、強弱の変化を感じながら演奏するように伝える。		
	○楽曲の構成にあった演奏の工夫をしよう。		

2 グループで発表の練習をする。	○表現の工夫を考えた内容や、各グループが伝えたいことをまとめワークシートに記入させる。	◇創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識や必要な奏法を身につけている。【技2】	旋律
3 各グループの発表を聴く。	○他のグループの演奏を聴き、意見を出し合いながら、ハーモニーの重要性を考えさせる。	◆活動の観察・ワークシート ◇音楽を形づくっている要素（旋律・強弱・構成）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す資質や雰囲気を感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すか考え、表現の創意工夫をしている。	強弱
4 学習のまとめをし、次回の学習内容を確認する。	○本時の目標を確認して、振り返りをし、次回の予告をする。	【思・判・表①】 ◆活動の観察	構成 テクスチャ

(3) 評価及び指導（手立て）

「十分満足できる」と判断される具体的な状況	・ハーモニーを感じながら曲想に合った表現の工夫を考えて、曲想に応じた技能を身につけている。 ・旋律・テクスチャ・強弱・構成に着目して演奏を工夫している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導（手立て）	・他のグループの表現を参考にしたり、旋律の上がり下がりを線で示し、表現の工夫を考えさせる。

4 ジャンプアップ研修を終えて

小松島西高等学校 森本 奈央子

「先生、歌いたい。思いつき歌いたい。」「今同じこと考えよった。私も同じ気持ちよ。」と、生徒と話した日をなぜだか鮮明に覚えている。

出産と育児のため教育現場から離れており、新たな気持ちで復帰した現場は、以前とは大きく異なっていた。始業式、終業式などは Zoom で行い校歌斉唱はなし、その他の行事も縮小、先日行われた卒業式も、歌唱や吹奏楽部の演奏がない式典となった。仕方のないことだと理解しているものの、寂しいような虚しいような何とも言えない思いは、1年が過ぎようとしているが、やはりまだ拭い去ることができない。しかし、今までと違った1年が、自分自身の別の部分を成長させることができる1年にもなった。授業においては、色々な制限の中でどのように授業を行っていくか悩む日が続いたが、同時に授業内容を更新するきっかけにもなった。新しい授業内容を組み立てる上での主役となったタブレットは、高校教員としてまだまだ経験値の低い未熟な私をジャンプアップさせてくれるきっかけを作ってくれた。タブレットでどのような活動を取り入れたら生徒のためになるのか、文化や音楽に触れる機会が大きく減少している今、授業でできることはどのようなことなのだろうかと考え、ジャンプアップ研修で学んだ内容を基に、これまでに取り組んだことのない内容にたくさんチャレンジすることができた。学校の新しい生活様式に配慮したタブレットの教材も出ており、教材研究をしながら私自身が楽しんで没頭したような教材もあった。

ジャンプアップ研修をこの時期に受講することができて本当に感謝している。何とか新しい時代について行くことができているのは、ジャンプアップ研修を通して学ぶことができたからだと感じる。初任者研修で誓った教師像をもう一度胸に掲げ、私自身の成長のために、様々な環境や人に触れ経験や体験を増やし、豊かな人間性を育みたいと考える。

芸術科「音楽Ⅰ」学習指導案

指導者 教諭 森本 奈央子

- 1 履修単位数 2単位
- 2 実施日時 令和3年9月29日（水）第2限目
- 3 学 級 15 HR・16 HR 音楽選択者20名（男子1名、女子19名）
- 4 使用教科書 Music ViewⅠ
- 5 題 材 名 映画音楽のよさを味わい、イメージと音楽の要素をつなげよう
- 6 題材設定の理由

（1）題材観

生徒たちは、普段の生活の中で様々な音楽を耳にしている。しかし、それらの音楽について、イメージを作り出している諸要素を知覚・感受して聴くことができる生徒は少ない。

本題材では、多くの生徒が慣れ親しんだ映画が数多くあるスタジオジブリ映画の音楽を取り上げ、音楽を形づくっている諸要素が各場面の内容や雰囲気醸し出していることに気づき、それらを解釈したり価値を考えたりできるようにしたい。また、常時活動として聴き取りの活動を積み重ね、音楽を様々な視点から聴くことができるよう工夫し、鑑賞授業につなげたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、生活文化科の生徒と福祉科の生徒の異なった科の合同学級であるが、音楽の授業に明るく真面目に取り組み、新しい知識や技能の習得、表現活動に対して意欲を持っている。しかし、他クラスの生徒との意見の交流がやや消極的で、自分の考えを言語化することに苦手意識を持つ生徒が多い。自ら主体的に考え、根拠を持って意見交流ができるようになることが課題である。

(3) 指導観

生徒が感受したことを、主体的に表出するための発想の助力として、映像による視覚的情報を用いる。また、意見交流による自分の考えを表現する学習場面を設定するとともに、プロジェクターとタブレットを有効的使用した活動を取り入れ、より主体的で実感を伴う鑑賞活動を行う。

7 題材の目標

- ・音楽を形づくっている要素の働きが生み出す、特質や雰囲気についての意見交流の学習活動において、意欲的に取り組む。
- ・音楽を形づくっている要素とイメージを関連付けて考えることができ、それらを解釈したり価値を考えたりしながら鑑賞する。
- ・各場面の楽曲について、思いや意図をもって言葉と創作的活動で表現する。

8 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・楽曲を知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素を理解し、曲の特徴を聴き取っている。	・音楽を形づくっている要素とイメージを関連付けて考える。 ・思いや意図をもって言葉と創作的活動で表現しようとしている。	・映像と音楽の関わりや、表現の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的に取り組もうとしている。

9 指導計画（全5時間）

- | | | |
|-----|----------------------|-------------|
| 第1時 | スタジオジブリ作品について考える | 知識・思考・態度 |
| 第2時 | 音楽を形づくっている要素とは | 知識・思考 |
| 第3時 | 創作活動①「千と千尋の神隠し」より | 思考・判断・表現 |
| 第4時 | 創作活動②「となりのトトロ」より（本時） | 思考・判断・表現・態度 |
| 第5時 | 活動のまとめ | 表現・態度 |

10 本 時

(1) 目 標

音楽を形づくっている要素とイメージを関連付けて考え、思いや意図をもって、言葉や創作的活動で表現しようとしている。

(2) 展開

			学習活動における 具体の評価規準	
導入 10分	・【何の楽器？クイズ】曲を聞いて、メロディーを演奏している楽器を答える。 ・前時までの振り返りと本時の学習内容と目標を知る。 ・前時で録音した動画を観る。	・導入として興味を引くよう、雰囲気留意する。 ・前時の振り返りと、本時の学習内容と目標について説明する。 ・スクリーンに注目するように促す。 ・創作者が違くと映像のイメージが変わることを説明する。		
展開 35分	・本時の創作活動で使用する場面（となりのトトロ）を観て、感じたことをグループで共有する。 ・場面に合う音楽を考え、発表する。	・タブレットを使用する。 ・意見交流しやすい雰囲気をつくる。 ・机間巡視を行い、状況に応じて助言をする。	・音楽を形づくっている要素とイメージを関連付けて考え、思いや意図をもって言葉や創作的活動で表現しようとしている。	・観察 ・ワークシート
まとめ 5分	・映像と音楽の関連性について確認する。 ・本時の振り返りと次時の学習内容の確認をする	・使用する音楽によって映像のイメージが変わってくることを諸要素の観点から理解する。 ・本時の振り返りと次時の学習内容を伝える。		

VIII 会員寄稿

おかげさまで37年（徒然と教員生活を振り返って） 名西高等学校 山根 幹

1. 訳もわからず若さで乗り切った12年

初めてのこどもとの出会いは、聾学校小学部の2年坊主4人組。当時の聾学校は小学部だけで100人ほど在籍していて、その中でも、2年生が特に多かったのは、その子たちがお母さんのお腹にいた年に風疹が大流行したからだと聞いた。

2年生は2クラスあって、口話ができるコミュニケーション力や学力の高いクラスを大御所のベテラン教師が担任し、健常児に追いつけ追い越せと熱血指導していた。そのクラスには入れない、聴力が厳しく口話が難しい男子児童4人を、産休の担任の補充として、新卒の私が担当した。「元気に、のびのびと活動すればよい」と言われたので、よく近くの中央公園（城山）に出かけて夢中でザリガニ釣りや、虫取りをした。夏にはプールで真っ黒になって水泳をした。腕が黒光りするほどに日焼けした。このときに焼きすぎたことを、今ではちょっと後悔している。

カードの絵を見て、キューサイン（舌や息の使い方を補助的に手で表す発音訓練）を使って単語を言わせる訓練を毎日した。マンツーマンで訓練した男児が、思うように言えなくて、目に涙をいっぱい溜めて歯ざしりしながら食いしばる顔を、夜思い出して心が折れそうになることもあったが、どうすることもできなかった。お別れに4人がそれぞれに私の絵を描いてくれた。いつもショルダーバッグを提げていた私を上手に描いてくれて嬉しかった。

○十年経って、時計店で、大人（中年）になったあのいつも個別で訓練した男児が、私を見つけて、生き生きと話しかけてくれた。心がほんわりとした。私のこと嫌いじゃなかったんだ。あの頃しんどかったんだなあと思分経ってわかった。

その後、板野養護学校では分校も含め4年の勤務。初任はピカピカの小学1年生、重度の男児二人を正規に担任させてもらって、嬉しくて張り切っていた。初めての食事や排泄の介助も、怖かったけれど苦にならず、二人が可愛かった。経験のない私には、保護者が先生で教えてもらうことで、関係も良好だった。でも、持ち上がった2年生の冬、一人の男児が肺炎であっけなく亡くなってしまった。養護学校に務めるとは、こういう現実と向き合うことなんだと思い知らされた。



名字が変わった春から、再び聾学校小学部で7年、音楽専科で楽しく務めさせてもらった。東四国身体障害者スポーツ大会の開会式で、選手団を先導する鼓隊を務めた。よく「どうやって練習したのですか？」と聞かれたが、何てことはない。児童たちは大変勘が良く、太鼓のリズムもすぐ覚えたり、歩きながらの隊形変換も夏の運動場で習得していった。マーチングキーボードという新兵器で演奏した“よろこびの歌”は、大きな声で歌いながら練習し、鳴門ポカリスエットスタジアムに響いた。聾児たちは歌うのが好き！

*特別支援学校の先生方、全て古い呼び方で記述しました。ご了承ください。

2. そろそろ高校でやってみたいぞ

私が高校教員を目指したのは、我が恩師、故川人昭夫先生との出会いがあったから。川人先生はスーパーマン！授業では沢山沢山歌わせてくれた。先生も本気で歌ってくださって、歌うのが楽しくって。ソプラノリコーダーも沢山吹いたなあ。先生の手書きの楽譜で。先生の楽譜は本当に美しい。特にオーケストラのスコア譜を見たとき、見事に整然としていて驚いた。

私は、先生のように（まではいなくても）高校で授業や部活がしたいんだ！意を決して教職員課の面談で訴えた。「南と西だったらどちらがいいですか？」「西がありがたいです。」蓋を開けると思いつき南だった。

5年間、阿南工業高校と那賀高校を兼務した。当時の工業高校はまだパンカラで、悪ガキも存在したが、4つの科の教官たちは見事に生徒をコントロールしていて、「うちの生徒が何かしたらすぐに言ってください。」といつも言ってくれていた。生徒たちが“あばさかった”ら、「〇〇先生に言うぞ！」と言えば効果てきめんだった。古きよき元気な時代で、工業の先生方は女性に優しく本当に紳士だった。

この5年間、必死で通勤した。保育園の迎えもいつも最後で、まだ出回り始めの携帯電話で、「すみません。あと〇分位で行きます。」と、しょっちゅう電話していた。でも念願の高校勤務が楽しかった。那賀高校の生徒も素直で、宇多田ヒカルのデビュー曲「オートマティック」などに衝撃を受けながら、よくリクエストがあって歌ったのを覚えている。

ただ、この兼務というのはクセモノで、両校とも担任や副担任は持てず、所属感が得られない。遠足や修学旅行ももちろん留守番だし、那賀高校の職員室の私の机は、よく物置と化していた。一度だけ遠足に誘ってもらったことがある。太龍山の山登り徒歩遠足！心地よい汗をかいて太龍寺から見た景色は最高！

3. 名西高校芸術科から城ノ内高校

5年の長距離通勤を終え、やっと転勤、近くの高校に勤務できることが待ち遠しかったが、勤務校がいきなり芸術科と聞いて正直びびっていた。ここへ来て不勉強だったことを後悔した。音楽理論、音楽史……はじめ相当いいかげんだったことを心からお詫びしたい。

それでも、所属感に飢えていた私に、“担任”という夢のようなポジションをいただき、毎日、音楽漬けで音楽コースの生徒たちと濃い時間を過ごした。弦楽器で生徒と関わったことも嬉しかった。恥ずかしながら専攻ヴァイオリンなので。

4年という短さで、転勤を言い渡された。城ノ内高校はマーチングをする学校だ。大丈夫か！？理由は前任の教諭が家庭の事情で1年で退職なさるからと、後任を仰せつかった。前任のN先生は全総文事務局で、毎日日付が変わるほど帰りが遅かったのに、転出先がまた帰りの遅い学校で、1年は辛抱したけれど、これ以上お子様に辛い思いをさせたくないと言われていた。決してN先生が勝手だった訳ではない。N先生は、私が困らないように、こまやかに文書や記録を残し、部費もたくさん蓄え、春休みには生徒と顔合わせの機会を作ってくくださった。

新しい学校にそわそわと出向くと、当時の音楽部の部長（3年生）が、第一声、「先生はずっといらっしゃるんですか？」と聞くので、「そうしたいと思っています。」と言うと、「先生がいてくださるだけでいいのです。」と言うのだ。そう、この子たちは、3年間毎年顧問が変わったから。もう泣きそうだった。

忘れもしないT部長は、頭が良く、機転が利いて、マーチングへの情熱に溢れていた。城ノ内が旧総合選抜高で、マーチングがしたくて来ている生徒がまだたくさんいた。特に加茂名中、川内中出身の猛者たちが、放課後になったら目をギラギラさせて部活に来ていた。私が赴任したのは、城ノ内中学校が新設されて3年目。次年度には中学生が上がってきて完全に中高一貫校になる。当時の校長が私に、「マーチングは今年限りで廃止にするから心配はいらない。運動部の後の体育館で9時まで練習するのも、今年だけだから辛抱してほしい。」「昨年、生徒にも言い渡し、県下の中学校に通達した。」と！

そうなんだ位に思っていたが、なんとそれからが大変。切れ者のT部長が、涙をぼろぼろこぼしながら、何度も訴えてきた。「私たちはマーチングをするために城ノ内に来た。なんとか続けさせて欲しい」と。悩んだあげく、私は校長に逆らった。そのことへの怒りは相当で、いつも部活を応援してくれる素晴らしい校長だったが、お願いする度に怒られ、叩き潰された。許可してもらえないまま次の校長へ持ち越された。

長い闘いになった。校長室を出て、悔しくて涙したこともあった。けれど、希望を捨てずにひたむきに頑張っている生徒たちが力をくれ、交渉を重ね、1年間完全に活動停止して、“やめた状態を作ること”を前提に、次年度からの復活を許可してもらった。大会には出場できないが、水面下で基本動作等の練習は続けた。その代の生徒たちも偉かった。私たちが橋脚になる。人柱の覚悟だ。

こうして、マーチングも続けながら、吹奏楽の活動、別の生徒たちで弦楽の活動も復活させた。私の趣味の巻き添えだ。部員1名だった合唱部はその生徒の卒業を機に、OBの先輩たちに謝って休止した。部活は8時までになり、練習を工夫しなければならなかったが、やる気のあるかわいい生徒たちと過ごした幸せな9年間だった。

現在、中等教育校になって、進学の結果が求められる学校でも、城ノ内は頑張ってマーチングを続けている。坂東先生ブラボー！無理をせず生徒と相談しながら続けていけることを祈っている。



4. ふたたび名西高校へ

高校音楽の先生方の多くが、専攻の実技に大変秀でている。名西高校へ行くべきは私ではないと思っていたが、「文化芸術分野のリーディング・ハイスクール」の担当としてふたたびの勤務を任命された。先生方は名西をどう思っておられるか？

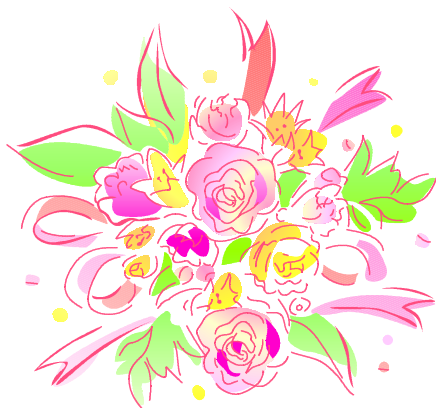
生徒の実技レベルはまちまちだが、音大・芸大を目指す者ももちろんいる。やりがいのある学校でず。生徒たちと共に過ごす時間が長く濃いという特徴は避けられないが、教員のチームワークがとてもよく、毎日楽しく音楽漬けの生活を送っている。還暦まで担任をやらせてもらえる学校は他にはないだろう。最後まで生徒たちに頼ってもらえるなんて本当に幸せに思う。

この春、最後の担任クラスを送り出した。生徒との関係が濃い分、いろんなことがある。反発を食らうこともあるが、何年も育てたといえおこがましいので、相手してもらった生徒たちは最後は本当にかわいい。さあ、そして私も卒業のはずだったが、現状はまだしばらくはどこかの学校でお世話

になりそうだ。

天国の川人先生、私は教員になる夢を叶えて、がむしゃらに37年やってきました。結果はいたらないことばかり。でも、音楽への情熱を少しは生徒に伝えられたでしょうか？

部活が好きな生徒と、共に歩んでこれたのでしょうか？
難しいですね？まだ夢の途中だ。



定年のご挨拶 ～夢を追いかけて～ 小松島高等学校 山本 美樹

平成3年桜の花が満開の鴨島養護学校（現 鴨島支援学校）に赴任して以来、平成6年から徳島盲学校（現 徳島視覚支援学校）、平成17年から小松島西高等学校、平成23年から小松島高等学校、そして令和4年3月末までの計31年間、音楽の先生方をはじめ他教科の先生方、事務室の方々には大変お世話になりました。定年まで勤められるか不安な時もありましたが、皆様のお力添えを頂き無事に定年を迎えることができそうです。大変嬉しく思いますと共に、心から感謝申し上げます。

さて、幼き頃の私は、野山を駆け回って育った好奇心旺盛な、夢多きおてんば娘でした。1970年、大阪万博が開催され、その華やかな開会式をテレビ中継で観た時には、将来同時通訳者になりたいと思っていました。

中学校の音楽の授業で「エーデルワイス」を習った時は、その曲名がドイツ語で高貴な白（edel=noble）＋（weiss=white）と言う意味を持つアルプスの1,700m以上の高地に自生する白く美しい可憐な花の名前だと知り、その親しみやすいメロディや発音にも興味を持つようになりました。また、ミュージカル映画「サウンド オブ ミュージック」を鑑賞した時には、ギター1本抱えて登場するマリアに憧れ、私も多くの歌を通じて子供たちに音楽の楽しさや素晴らしさを伝えられる教師になりたいと思いました。そして、いつか、マリアと子供たちが「♪ドレミの歌」を歌っているシーンの”ミラベル庭園”や”ペガサスの泉”に行ってみたいと強く思うようになりました。

昭和60年～62年にかけて念願の夢が叶い、Wienに暮らすこととなりました。大学の授業は全てドイツ語だったので、最初は泣きながら勉強しました。（この時期が私の人生の中で最も熱心に勉

強した時です。苦笑) やがて、自分の気持ちが言葉にのせて発せられるようになると、Wienでの生活は好転し、快適でした。当時Wienの学生は優遇されており美術館や博物館など学生証があれば無料、オペラやコンサートチケットなども当日の残券があれば50シリング(500円位)で購入できました。毎晩のように、ウィーン国立歌劇場へ通ううちにドア係のおじさんとも顔見知りになり、残券が買えなくても「貴方は音楽を勉強してるんだからね。」とこっそり裏口から入れてくれるようになりました。(Danke!) 当時のステージは、帝王と呼ばれたカラヤン、ムーティ、アバド、クライバー、メータ、ドミンゴ、ブルゾン、ジェーシー・ノーマン、キャスリン・バトル、ポリーニ etc.. 蒼々たる人物がのっており、正に「夢の街♡ウィーン」後々ここで暮らしたことが私の宝石箱となりました。

平成8年、長男を出産してまもなく育児休業中をミシガン州 Ann Arbor (アナーバー) という街で暮らしました。ここは全米の”住みやすい街ランキング” トップ10に入るほど人気の街で、治安が良く、ミシガン大学を中心に国際的な環境がある学園都市でした。ミシガン大学は、私の大好きなジェーシー・ノーマンの母校であり、定期的に彼女の歌声を聴けたことは育休中の至福のひとつでした。

平成15年～17年の鳴教大院時代は、全国の盲学校の中で唯一、創作ダンス部があった徳島盲学校に勤務していました。そこで、「独りで座り込むことの多い生徒たちをあと一歩前へ動かせたい。空気がシフトする様子を肌で感じて欲しい。」との思いがきっかけとなり、「盲学校における創作ダンス指導実践研究～音楽リズムと運動リズムの相乗効果による表現力の向上を目指して～」に取り組みました。ここでは、過去の経験に頼らず自分を壊し、組織化し立ち上がることを学んだように思います。

平成17年からは、吹奏楽部の顧問となり、定年を迎える今日まで、私は次々と現れる劣等感との闘いの日々が続きました。小さな刺が心に残り、それを取り除くために必死だったのかも知れません。近年は、生徒と共に歩んで行くうちに、吹奏楽に対する劣等感も次第に薄らぎ、音楽技術の追求という呪縛から逃れて、いつの間にか喜びを味わっている自分がいます。さあ～て、私は、ジュリー・アンドリュース演じるマリアのような先生になれていたのでしょうか？本当に、高校に勤務するようになってからは、大好きな生徒たちに育てられたと思っています。



最後に、私の好きな歌詞をお届けします。

星野富弘作詞・松本龍之作曲
「女声合唱組曲 ふるさと 故郷の道」～「沈丁花」より

誰にでも / やさしい言葉が / かけられそうな気がする
沈丁花の香り / ただよってくる朝

コロナ禍でまだまだ大変な毎日ですが、共にうたう社会を求めて、共にうたえる日々を目指してどうか先生方いついつまでもお元気でお過ごし下さい。皆様方の益々のご活躍とご多幸を祈念いたします。私も、人生の第2楽章を私なりの方法で考え、お転婆を控え、試行錯誤しながら、再び夢を求めて歩んで参ります。長い間、ご交誼を賜りましたことに厚く心より感謝申し上げます。

令和4年2月吉日



Ⅶ 令和3年度 徳島県高等学校教育研究会 音楽学会会員名簿

会 長 臼 井 公 仁 (名 西 高 等 学 校)
副 会 長 山 根 幹 (名 西 高 等 学 校)
学 会 幹 事 石 川 宏 美 (名 西 高 等 学 校)

城東高校

1 井 上 郁 代 教諭

城南高校

1 和 泉 康 洋 教諭

城北高校

1 荒 木 結 香 教諭

城ノ内高校

1 坂 東 遥 教諭

徳島北高校

1 榊 一二三 教諭

徳島市立高校

1 梅 本 敏 行 教諭

城西高校

1 松 丸 麻 祐 子 教諭

徳島科学技術高校

1 東 川 容 子 教諭

徳島商業高校

1 長 町 美 希 教諭

小松島高校

1 山 本 美 樹 教諭

小松島西高校（兼務）

小松島西高校 勝浦校

1 森 本 奈 央 子 教諭

富岡東高校

1 梅 本 香 織 教諭

富岡西高校

1 常 陸 貴 生 教諭

阿南光高校

1 葉 久 か お り 教諭

海部高校

1 大 羽 恵 子 教諭

鳴門高校

1 岩 崎 律 子 教諭

板野高校

1 山 本 裕 子 教諭

名西高校

1 山 根 幹 教諭

2 石 川 宏 美 教諭

3 岸 秀 典 教諭

4 新 居 誠 司 教諭

川島高校

1 岸 直 美 教諭

(山 田 麻 依 子 教諭)

阿波高校（兼務）

阿波西高校

1 橋 本 二 千 翔 教諭

脇町高校

1 北 川 昌 代 教諭

池田高校

1 三 木 野 喜 子 講師
(黒 木 小 百 合 教諭)

徳島視覚支援学校

1 仁 木 悦 子 教諭

国府支援学校

1 今 津 崇 晴 教諭

ひのみね支援学校

1 豊 田 尚 子 教諭

2 細 井 京 子 教諭

みなと高等学園

1 吉 田 美 恵 教諭

阿南支援学校

1 濱 田 三 貴 子 教諭

板野支援学校

1 原 口 絵 里 教諭

池田支援学校

1 小 谷 直 也 教諭

研究紀要編集委員

北 川 昌 代
石 川 宏 美
今 津 崇 晴
豊 田 尚 子
吉 田 美 恵
坂 東 遥
松 丸 麻祐子

発行日 令和4年3月31日

発行所 徳島県高等学校教育研究会音楽部会

事務局 徳島県立名西高等学校内